



ヤンゴン日本人学校 学校だより 4月号

2016年4月25日 校長 萩野 幹夫

平成28年度のスタートに当たり

校長 萩野 幹夫

校庭のマンゴーの木が豊かに実をつける中、新年度が始まりました。本日、転入生19名と幼・小・中の新入生44名を迎えて平成28年度をスタートいたしました。急速に発展しているミャンマーとともに大きくなりつつあるヤンゴン日本人学校では、子供・保護者と教職員でこれまで積み重ねてきた良き伝統を一層発展させながら、新しい出会いの中でさらによい学校づくりを目指して行きます。

また、学校運営委員会の下、四月に赴任した3名の派遣教員と全教職員が力を合わせ、教育活動を行います。昨年度、校舎増築により、教育活動も充実してまいりましたが、さらに新年度も施設・設備の充実とその有効活用を進めたいと思います。学校と家庭、PTA組織のお力をお借りして、教育活動の充実に向け、子どもたちの健全な成長を支援していきます。

この一年、本校の教育活動にご理解いただき、それぞれのお立場からのご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

181名の子どもたちが、明日の登校を楽しみに待つ学校を目指して、誠心誠意、努力を重ねていく所存です。どうぞよろしくお願いいたします。

<H28 学校運営委員会委員>

- ・運営委員長 ヤンゴン日本人会会長 本宮 重人
- ・在ミャンマー日本国大使館代表 東 秀明
- ・ヤンゴン日本人会教育担当（兼幼稚園園長）中村 英司
- ・日本人学校 PTA会長 梁井 崇史
- ・日本人学校長 萩野 幹夫

<平成28年度ヤンゴン日本人学校の教育方針・目標と目指す学校像>

日本の学校教育関係法令に準拠し、日本と同等の教育を行うとともに、ミャンマーという地の利を生かした地域素材を活用して教育活動を展開することで、国際社会に貢献できる人材の育成も行っていきます。そのために次の5点を重点にします。

- 学 力→自分で考え、自分で判断し、自ら解決していこうとする力の育成
- 自立心→基本的な生活習慣の確立と切磋琢磨する「チャレンジ精神」の育成
- 体 力→健康づくりは心づくり。意図的、継続的な自己管理能力の育成
- 共生心→相手の気持ちや立場を理解し、共に生きていこうとする共生力の育成
- コミュニケーション力→日本語・英語・ミャンマー語で積極的に「表現する力」の育成

<教育目標> 「自ら学ぶ意欲と実践する力を育て、心身ともに健全な児童・生徒の育成を図る」

<目指す学校像>

- みんな元気で仲良く、楽しい学校
- 明日が待ち遠しく思える学校
- コミュニティー・スクールを基盤とした、幼・小・中が連携した学校
- 保護者などの方々が教育に積極的に参画する学校
- 安全・安心を大切にしたい学校

<今月の主な予定>

25日(月) 着任式・始業式・入園、入学式
26日(火) 身体測定・弁当開始(除・小1)
27日(月) 小学部1年生弁当開始 避難訓練

5/7(土) 授業公開、学級懇談会、PTA 総会

※学校運営委員会議事のダイジェスト版を
学校 HP『運営委員会』に載せていきますので
ご覧ください。

<今月の学校運営委員会報告>

4月21日 16:00~18:10

出席: 本宮新委員長、妻鹿前委員長、教育担当
中村英司、大使館東書記官、梁井 PTA 会長、
萩野校長、オブザーバー渡邊教頭 塚本事務長
議 事

- ① 学校運営委員会規則などについて
- ② 学校職員、担任等一覧、児童数について
- ③ 年間行事予定・教室配置について
- ④ 教職員スタッフについて
- ⑤ 幼稚部の園庭、教室整備などについて

<児童・生徒数>

平成28年4月25日現在

	バナ ナ	マン ゴー	パパ イヤ	1 年 年	2 年 年	3 年 年	4 年 年	5 年 年	6 年 年	中1	中2	中3	
計	7	15	12	21	14	27	26	18	13	16	9	3	181

幼稚部 34名

小学部 119名

中学部 28名

<新任のあいさつ>

西野 裕明

日本最西端の県、長崎県から参りました。日本での勤務校は諫早市立有喜小学校という港町にある学校です。学級数や人数はヤンゴン日本人学校とほぼ同じです。窓からは雲仙普賢岳を臨む、のどかな環境です。

ヤンゴン日本人学校では、主に音楽科の授業を担当します。私自身、音楽は苦手科目でした。ピアノを通して、少しずつ自分になくてはならない科目に変わりました。「音楽」という字の通り、純粋に音を楽しみながら学ぶことができる授業を目指しています。

ミャンマーの活気あふれる雰囲気と人々の温かな心遣いで、不安が期待に変わりました。ヤンゴン日本人学校の子供たちと、楽しい音楽を創り上げていきます。

小林 隆

さいたま市より参りました。どうぞよろしくお願いたします。

4月9日に初めてヤンゴン日本人学校の門をくぐったとき、ローカルのスタッフの方が素敵な笑顔で迎えてくださいました。ブーゲンビリアの花も私たちの様子を静かに見守ってくれているようでした。校庭に出て、芝生の緑の眩しさに心を奪われました。その隣に佇む体育館の姿には、今までの学校では味わったことのない空気がありました。

このような環境の中で、子ども達と共に、活動できることの喜びを共有していきたいものです。

本多 なつき

千葉県佐倉市より参りました。ヤンゴン日本人学校のみなさんとお会いできるのをとても楽しみにしていました。わからないことばかりですが、1日でも早く理解し、ヤンゴン日本人学校のみなさんと楽しい学校生活が送れるように努めて参りたいと思います。また楽しい授業ができるように、一生懸命頑張っていきたいと思います。この出会いを大切に、子どもたちに寄り添い、たくさんのお話を子どもたちと一緒に体験していきたいと思っております。これからよろしくお願いたします。